

第7回淡海ファイヤーレディース交流会が開催されました

令和2年2月2日（日）滋賀県蒲生郡竜王町にある（公財）滋賀県希望が丘文化公園青年の城において、「第7回淡海ファイヤーレディース交流会」が、約160名の皆様の参加のもとで開催されました。

植田 和 生 滋賀県消防協会長の開会挨拶に続き、来賓を代表して滋賀県知事代理 嶋 寺 源 一 防災危機管理監より、本交流会への温かいご祝辞をいただきました。

その後、消防大学校や各地の消防学校で講師やアドバイザー等、多方面で幅広くご活躍をされております、東京都赤羽消防団副団長の 小 澤 浩 子 様を講師にお招きして、「ふるさとを守る力～女性消防団員の活動と課題～」と題してお話をいただきました。

多発する自然災害の中を生き抜くために寄せられる消防への期待。現在の消防団の概況や女性消防団員誕生までのお話、女性活躍推進法の制定や男女共同参画の推進から災害現場や様々な分野への女性の進出、全国各地の特色ある活動等、丁寧に分かりやすくご説明いただきました。また、昼からの体験学習に合わせて、避難所の現状と理想の避難所について、消防団活動において必要な知識をお話いただき、大変有意義な学び多いものとなりました。消防団の皆様は真剣に聞き入り、熱心にメモ等をとられていました。

午後からのグループ別体験学習では全体で12班に分かれ、女性団員、男性団員、消防・市町職員が一緒になって「新聞紙スリッパ」「キッチンペーパーマスク」「サラダ油ランプ」「ビニール袋カップ」「段ボールトイレ」「かまどで乾パンぜんざい」を体験しました。

各自作り方を見ながら、説明を聞きながら、少しの工夫で簡単に出来る事に驚かれています。災害時、物が無い中でいかにして必要なものを作り出すか、手軽でアイデア性があり、また色々な応用も効き、地域の普及啓発で紹介したいという声も上がっていました。屋外で実施した「かまどで乾パンぜんざい」は、寒さや着火不良が懸念されていましたが杞憂に終わり、各班の焚火は赤々と燃え、大盛況の研修となりました。

閉会式では、栗東市消防団分団長の 梅 景 み ゆ き 企画運営委員会委員長の挨拶をもって終了となりました。

梅景委員長をはじめ委員の皆様には、多大なご尽力を賜り、誠に有難うございました。そして、ご参加くださいました皆様、大変お疲れ様でした。



滋賀県消防協会 植田会長 あいさつ



滋賀県知事代理 嶋寺防災危機管理監



来賓 滋賀県消防学校 原田校長



開会式風景



開会式風景



東京都赤羽消防団副団長 小澤 浩子 氏



体験学習 ビニール袋で作るカップ



体験学習 段ボールで作る簡易トイレ



体験学習 サラダ油で作るランプ



体験学習 新聞紙で作るスリッパ



体験学習 キッチンペーパーで作るマスク



体験学習 かまどを作り、乾パンぜんざいを作ろう





パネル 展 示



栗東市消防団 分団長 梅 景 み ゆ き 企画運営委員長 あいさつ